

第1回桜井市地域公共交通活性化再生協議会会議要旨

- 日 時 平成24年5月31日（木）午後1時30分
- 場 所 桜井市役所 本庁 大会議室
- 出席者 協議会委員11名（うち、代理出席者4名） 事務局2名
- 会議内容
 - 1. 挨拶 桜井市市長公室長 西田澄夫
 - 2. 「平成23年度事業報告及び収支決算報告について」
 - 【事務局説明】
 - 事業報告について
 - ・ 資料のとおり説明
 - 収支決算報告について
 - ・ 資料のとおり説明
 - ・ 監査員 河合委員より資料に基づき報告
異議なく、承認される。
 - 3. 「平成23年度桜井市コミュニティバス及び桜井市デマンド型乗合タクシーの運行結果について」
 - 【事務局説明】
 - ・ 資料のとおり説明
 - 【質疑応答】
 - ・ コミュニティバスの多武峯線について、22年度は遷都1300年祭の影響で利用者が増えたため、23年度の利用者数は相対的に減少している、という報告があったが、観光で訪れた人以外の地域住民の利用数は減少していないのか。
→乗降調査などで正確に調査したわけではないが、地域住民の方々の利用数は横ばいであると見ている。
 - ・ 資料4「デマンドタクシー利用実績」で前年度分の数値が載っていない。また、23年10月に路線を変更した件についても、変更後の具体的な分析が掲載されていない。
→今後は、報告の際に委員の皆様へ分析していただけるように資料作りを行う。
異議なく、承認される。

4. 「桜井市デマンド型乗合タクシーの運行計画について」

【事務局説明】

- ・ 資料のとおり説明

【質疑応答】

- ・ 「月当たりの利用者数を前年度比で増加させる」という目標があるが、具体的にどのような活動をしていくのか。
→①コミュニティバスの使い方や利便性をアピールするための啓発活動、②事務局による利用実績のさらなる分析・検証と、協議会による利便性の高い運行計画の作成、以上の二点を中心に考えている。
- ・ 今年度運行計画を変更したことによって、改善されたのか。
→今年度変えたというわけではないが、地元要望により、朝倉台線の済生会中和病院に向けてのルート変更を行った。またデマンド型タクシーも、より利便性を高めるために曜日の変更を行った。
- ・ コミュニティバスとデマンド型タクシーの月当たりの利用者人数はどこに載っているのか。
→1日平均は載せているが資料に月ごとの利用者数は載せていない。今後は、資料の作成にあたり工夫していきたい。
- ・ 多武峯線の、生活路線としての利用者数、観光としての利用者数を分けるべきではないか。
→今後は奈良交通とも協力して乗降数も分析し、生活目的と観光目的とがどのような割合で利用されているのかを調査していく
- ・ 目標の意図するところは何なのか。
→生活路線としても、観光路線としても、利用人数の増加を図る。今後十年の総合計画に将来都市像として「観光・産業創造都市」と謳っているため、特に観光路線としての利用を増加させたい。多武峯地域も観光拠点のひとつであり、現在公共交通の路線はコミュニティバスしかないため、しっかり利用啓発に努めていきたい。
- ・ 乗降調査で一般客と地域住民との区別は可能なのか
→運送事業者と相談して調査方法を考えていく。
→精度をどれだけ高められるかはわからないが、ある程度は調べることが出来る。
- ・ 去年のデマンド型タクシーの曜日・時刻変更後に、利用者から新しい要望は出ているのか。
→前回の变更后、事務局に変更に関する要望は出ていない。

- ・ タクシーの方には直接要望が入ってきている。利用者の意見を定期的に聞くような機会は設けていないのか
 - 定期的には開いていないが、折を見て意見を伺うことはしている。
 - 今後は、限られた財源の中でという制限はあるものの、ニーズを反映してよりよい公共交通にしていきたい。またそのためにも、委員の皆様には情報提供などのご協力をお願いしたい。
- ・ デマンド型タクシーの発着地の拡大についての要望が事務所に届いている。
 - 限られた上之郷地区のエリアデマンドという形式をとっているの中で、その中で利用者の声を聞きながらまた検討していきたい。現行路線ではコースが決まっているので、現時点ではお客様にご理解いただけるようにご説明をお願いしたい。今後もそのような意見があった場合は、事務局にも一報いただけたらと思う。
- ・ 路線図について、コミュニティバスだけでなく、その他の市内路線バスや、近鉄線・JR線との連絡関係も載せるべきである。
 - 今後は、見易さとのバランスも考慮しつつ、より便利な路線図を作りたい。

異議なく、承認される。